

# ホストタウンとJICAボランティア ～JICAボランティア人材とは～



内資料3

- ✓ **コミュニケーション能力**
  - ・地域の人々との関わり合いの中で良好な人間関係を作る
  
- ✓ **異文化適応能力**
  - ・新しい環境に適応し、人々の考え方や文化、社会を受入れ理解する
  
- ✓ **課題解決能力**
  - ・直面する課題に現地の人とともに創意工夫して取り組む
  
- ✓ **柔軟性**
  - ・形にとらわれない柔軟な考え方ができる
  
- ✓ **情熱**
  - ・困難な環境の中で、揺るぎない情熱を持ち続け、最後までやり遂げる



# ホストタウンとJICAボランティア

～人材の活用～



ホストタウン

内閣官房

自治体で雇用

・自治体が誘致する相手国の帰国ボランティアを職員採用し、東京大会開催までの期間、及び大会中、大会後を通して、ホストタウン事業を担う

JICA国内拠点  
15か所  
47都道府県の  
国際協力推進員

OB会

国際協力キャリア総合情報サイト  
PARTNER

JICAボランティア人材

JICA青年海外協力隊  
事務局

JICA海外拠点  
91か所

国際理解教育をサポート

・教育現場で国際理解推進のための出前講座、イベント等のサポート

ボランティアとしてサポート

・事前合宿誘致や大会中に相手国選手の通訳業務、国際交流イベント等のサポート

# ホストタウンとJICAボランティア ～事例紹介1～

## 山武市×スリランカ



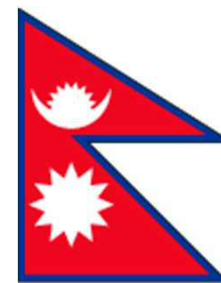
スリランカスタッフとの通訳



中学生の派遣前研修

- 2014年12月スリランカ政府と山武市は、代表選手団の受入れの合意を結び、青少年相互交流事業を実施することを決定。
- 現在、青年海外協力隊OG(スリランカ派遣)が東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室の専従職員として採用され活躍中。
- 山武市長のスリランカ訪問に同行。通訳や青少年交流事業のコーディネート等に当たっている。
- 2014年7月山武市の中高生を引率し、スリランカを訪問。現地の中高生やJICAボランティアとの交流を実施。

# ホストタウンとJICAボランティア ～事例紹介2～



## 駒ヶ根市×ネパール・ポカラ市

- 今年15周年を迎える駒ヶ根市とポカラ市の国際協力友好都市協定。
- 協力隊の訓練所があることから、隊員活動支援や中学生の派遣事業などを通じ、交流を重ねてきた。
- 市職員をJICA現地スタッフや協力隊としてポカラ市に派遣し、これまでに7名がスリランカで活動。
- 現在、2名が企画振興課に在籍し、交流事業や訪問団受入れなどをサポート。
- 今後、2020年に向けたホストタウン事業にも関わっていく予定。

# ホストタウンとJICAボランティア ～お問い合わせ先～



資料請求・問い合わせは

各都道府県管轄のJICA国内拠点まで

JICA国内拠点

検索

JICAボランティアについては

JICAボランティア

検索